

学校だより

第 46 号

豊橋市立豊城中学校

〒440-0801

豊橋市今橋町2番地の1

TEL 0532-54-1275

令和5年2月24日発行

E-mail hojo-j@toyohashi.ed.jp



未来の自分をつくる 自ら考え学び成長し続ける豊城中

僕が学校生活で全力で取り組んできたことの一つに「豊城祭文化の部」があります。特に今年度は実行委員長として全体の指揮を執りつつ、司会として会場を盛り上げることもしました。この大きな役割を果たし、仲間の大切さと仲間と一緒にものを創り上げる楽しさ、そして責任の大きさを学びました。どうしたら全員に楽しんでもらえるかを考え、その通りに実行したらどんな問題が出てくるかを想像する。その繰り返しで「正解」にたどり着けたかはわかりません。しかし、文化の部が終わっ

中学校生活を振り返って

前期生徒会長 田中 爽楽

たあとの全校生徒の顔を見て、今まで自分たちがやってきたことは間違いではなかったと心の底から思いました。

僕たちの中学校生活は「初めて」だらけでした。コロナ真っ只中の入学式から始まり、リモートでの集会や新入生歓迎会。密を避けるための体育の部の新種目や文化の部の生徒会企画。今までになかった企画を実行するために挑戦し続けてきました。先輩のみなさんにはこれからも豊城中学校を盛り上げるために、どんどん新しいことに挑戦してほしいです。

新たな景色を眺めるために 「守・破・離」

豊城中学校校長 河合 成始

目標達成のために努力する、感情をコントロールする、周囲との関係性を築くなど、実社会で生きていく力を育むことは部活動の目的のひとつです。

多くの生徒は希望する運動部・文化部で活動しています。その一方で、入部せず授業後の時間を有効に活用している生徒もいます。前述の力を身につけるための手段は部活動に限らないので、私は両者の選択を尊重しています。

さて、自分が立てた目標をみずすには、心技体を磨き続けることが必要不可欠です。そして、その進化する過程を「守破離」の三段階で表すことができます。

▼守…基礎基本を徹底し確実に身につける

▼破…自分なりに工夫し心技を発展させる

▼離…新たな発想で独自手法を構築させる

目標の高さによって質の高さも変化しますが、「守」は最も重要な段階と捉えています。なぜならば、「基礎基本の習得なしに大輪は咲かない」からです。

生徒の皆さんには、学校内外での諸活動において、自ら諦めの蓋をせず、自発的にねばり強く練習を積み重ねることで、新たな景色を眺めてほしいと思います。

活用できる学力を目標として

豊城中学校で本年度に行った、学習に関する取り組みを紹介いたします。

一年生の英語の授業で、目的別コース選択制を導入しました。発展的な学習に取り組む「J・read Cas」と基本的な学習に取り組む「Team Dogs」に分かれて学習を行っています。2ユニットごとにコース変更の希望を取っていますが、コースを変更せずに同じコースを選択する生徒が多いようです。本年度は一年生だけの運用ですが、来年度は一年生と二年生の二学年での運用を目指しています。二三年生の英語と二三年生の数学では、学習内容などの状況にあわせて、少人数授業やチームティーチングでの授業を行っています。

学びのサイクルの定着のために、全教科で単元テストを実施しています。国・社・数理・英の五教科は、同日中の授業時間内に行っています。



す。実技教科は、一年に五回、昼の時間などに行いました。日々の授業、日々の家庭学習等を単元テストで確認し、その結果を振り返り、自分で学習方法の調整を行えることを目指しています。

木曜日に行っているBTT(T・P・A・L・N トーク タイム)では、話すよさ、話を聴くよさを実感できることを目標に活動をしています。少人数で話したり、話す聴く技術を練習したりする活動からはじめました。少しずつ、会話の方法やグループの作り方を変え、現在は、学級全体で一つのテーマを話す活動に移行しています。

豊城中学校では、生徒が自分の学習状況をとらえ、学習方法などを自分で判断して決定していきけるようにすることで、日常生活でも自在に活用できる学力の習得を目標としています。

安全安心な学校づくり

避難訓練

本校では、南海トラフ地震に備え、4月9月1月の年三回避難訓練を実施しています。「地震発生に伴う危険を理解予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにする」という目標を掲げ、自分たちの命を守る行動を確認しています。「下校時に起きたら」「部活中だったら」「休み時間だったら」など、判断に迷う場面が想定されます。もしもの際、どのように最善を尽くせるのかを学校全体で一緒に考えることで、主体的に行動できる態度を育成しています。

1月10日の始業式後の休み時間に、予告なしの訓練を行いました。冬休み明けの生徒たちは、寒空の下、突然の警報に驚きながらも、今までの訓練を思い出し、冷静に行動する姿がありました。中学生は



「自分の命を守る行動」に加え「地域社会に貢献する行動」が求められます。支えてもらう側から地域住民を支える側として率先して動く役割についても考える機会になります。私たちは地震の発生を防ぐことはできませんが、被害を最小限にとどめるために、一回一回の訓練に目的意識をもち、安全安心な学校を目指していきます。

後期生徒会活動を振り返って

後期生徒会長 太田 樹子

一年生から携わってきた執行部の活動も、今期で三期目となりました。今まで先輩の背中を見ながらしていた活動も、いつの間にか私が先頭に立つようになりました。私が生徒会長として意識したのは「結ぶ」ことです。共に活動してきた先輩をはじめ、豊城中生一人一人の思いを結べるように活動してきました。その中でも、文化の部と合唱コンクールは執行部だけでなく、全校生徒の思いを結んで創り上げた最高の思い出です。先輩、後輩の壁を越え、手を取り合う姿は、これからの豊城中学校に繋いでいきたいと思いました。私たちもあと少しで三年生。これからは、私たちの思いを後輩に結んでいきます。

豊城中 GIGA スクール 構 想

G I G A スクールタブレットが導入されて、三年目となりました。昨年度から、自宅への持ち帰りが日常的になっていきます。学校の授業でも、さまざま

な場面でタブレット端末が使われるようになっていきます。活用例をいくつか紹介します。授業の中で意見交換をしたり、議論したりする場面では、協働ソフトを使って瞬時に学級全員の意見がわかるようになり、円滑な話し合いをする助けになっています。今まで大きな模造紙を使って、まとめの資料をつくるような作業も、サーバ上のデータにグループ全員で

接続し、同時に作業を行っています。また、音楽では手本となる音源などを何度も聞きなおすなどして、自分たちの演奏や演技を高めることにも活用しています。情報モラルや機器の取り扱い方など、多くの課題もあります。しかし、定規や電卓などの文房具のようにタブレット端末を使い、学習をより効率的に学習していくことを目指していきます。

令和4年度

学校評価について

〈ねらい〉

今後実社会で生きていく生徒にとって、よりよい教育環境を構築するために、保護者、地域の方の協力により学校評価を行う。

〈方法〉

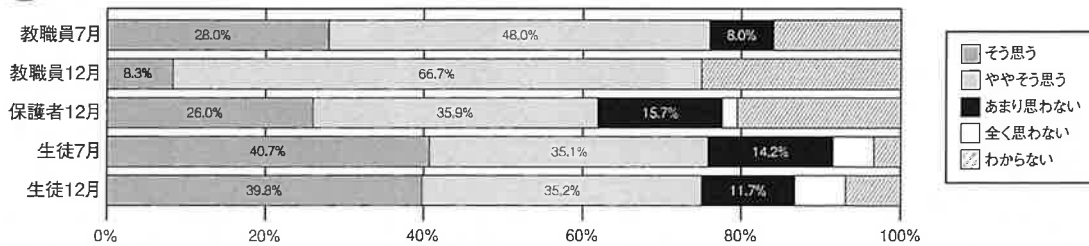
- ①生徒・教職員を対象に年2回、保護者には年1回、同じ項目のアンケートを実施
- ②保護者には年2回、学校行事や学年の活動に関する記述式アンケートを実施
- ③アンケートを受けての教職員による自己評価
- ④「明日の豊城を創る会」による学校関係者評価

アンケート実施時期 【7月】7月12日～7月16日 【12月】12月6日～12月12日

アンケート結果より

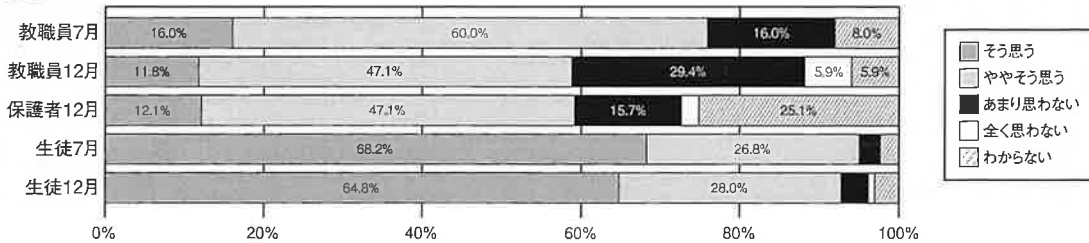
※グラフの上の質問は生徒向けアンケートの表現です。
※保護者は選択肢の「わからない」を「判断できない」として回答しています。

Q4 少人数指導(数学や英語)の授業は、質問しやすく、内容を理解しやすいと思いますか。



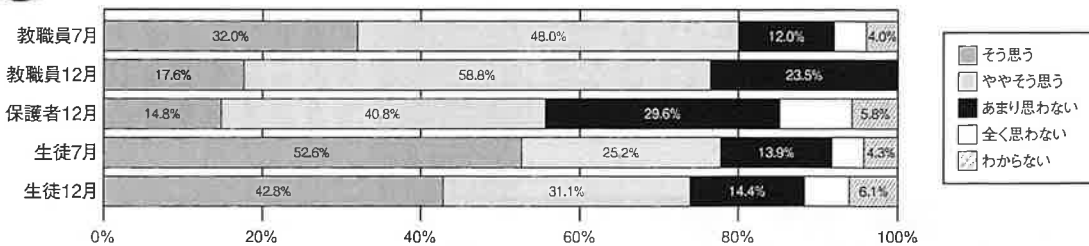
約7割の生徒が少人数での指導は質問しやすく、内容を理解しやすいと感じています。今後も、少人数のよさを生かして一人一人の理解度に応じた指導ができるように、指導方法の改善・工夫をしていきます。

Q10 あなたはSNSの利便性だけでなく、問題点や危険性についても理解していますか。



7月の調査と同様で、デジタル端末やネットメディアが身近な世代であるがゆえに、「自分はSNSの危険性を理解している」と考えている生徒が多いようです。使いこなしているからこそ、「自分は大丈夫」とならないように、情報モラル教育に取り組んでまいります。スマホは主に学校外での使用になるため、家庭でも危険なサイトへのフィルタリングや時間制限のルールなど今一度確認をお願いします。

Q14 タブレット端末を使うことで、生活や学習が便利になったと思いますか。



約7割の教員、生徒が便利になったと実感しています。学校では学習道具の一つとしてタブレットを使うことがあたりまえになってきているように感じます。今後は資料のペーパレス化や、課題等をタブレットで行うなど、ご家庭でも便利になったと実感できるような取り組みが徐々に増えていくように工夫をしていきます。

〈アンケート結果について〉

本年度の学校評価について、アンケート結果をまとめ、ホームページに掲載いたしました。ぜひご覧ください。

学校ホームページ QRコード



学年だより

1年 We are the stars!

年度当初に決めた学年目標は「We are the stars!」の目標には、「自立」「協力」「個性」を大切に、この年でそれぞれが輝く場面を「みんなで」つくりたいという思いが込められていました。この目標のもと、一年間で多くのことを学び、経験し、もうすぐ第二学年を終えようとしています。

4月に行われた野外教育活動。その後間もなく開催された体育祭。そして初めての部活動やテスト

「2年 Upi 日々成長」

「一日一歩、三日で三歩、三歩進んで二歩下がる…」365日の「マーチ」のワンフレーズを聞いてスタートした4月。失敗を恐れず、少しずつでも自分を成長させようと、新しいことにチャレンジしてきました。

「社会人として」という言葉を胸に行った職場訪問学習では、言葉遣いやマナーに気をつけながら希望する事業所へポイントの電話をかけました。当日は、事業所の方から将来に向けての温かい言葉をたくさんいただきました。達成感に満ちた表情で職場の様子を語る生徒たちを見て、たくましさを感じる

勉強。慣れない中学校生活に必死になりながらも、係や自分の役割をきちんと果たそうとする姿や、友達を思いやり、優しく気づかう姿がありました。「この学年はきつと素敵な学年になる」と確信できた学期になりました。

二期には合唱コンクール。どの学級も自分たちの曲作りに情熱と時間を注ぎ、昼休みも授業後の練習にも全力で取り組みました。先生たちの力を借りなくても、自分たちの力でまとまりながら、真剣な雰囲気を生み出すことができる一年生の底力を目の当たりにし、個々の成長だけでなく、集団としての成長も強く感じられました。

この一年間、「らしさ」が輝き、お互いを認めあう姿を多くの場面で見ることができました。「自立」「協力」「個性」「みんなで」これからも大切にしてほしい言葉です。来年度は二年生。個としても、集団としても「凡事徹底」をぶらさず、主体的・自治的によりよい行動が

できました。「ビジネスパーク」では、これまで知らなかったさまざまな職業を知る機会をいただき、将来へ向けての視野が大きく広がりました。

行事でも大きな成長が見られました。合唱コンクールでは昨年度からパワーアップした創造力を感じました。「歌は心」。歌わされる合唱ではなく、クラス全員で創りあげる合唱が、期間中ずっと学年フロアに響いていました。「全員でがんばられて幸せ」と涙する生徒の姿に心を打たれたのが昨日のことのように思い出されます。他クラスと切磋琢磨して成長し、互いの歌に心から拍手を送ることのできる二年生。来年の歌声がともも楽しみみです。

いよいよ三年生に向けての準備がはじまりました。自分の進みたい道、なりたい将来像を描きながら、これからも一歩一歩、力強く前へ進んでいくことを願っています。

できる学年に更に成長してほしいと願っています。



3年 ONE TEAM

「ONE TEAM」になっていく過程や精神を大切にしていけることを目指して、三年間掲げてきた学年目標。中学校生活で苦楽をともにし、このメンバーでしか創ることのできない「ONE TEAM」になれたのではないのでしょうか。それぞれの未来へ大きな歩を踏み出そうとしている今、一人一人の光り輝くよさと、集団としての団結力を改めて実感しています。

休校からスタートした一年生。新しい仲間や環境に慣れるまでとまどうことも多かったと思います。しかし、そんな状況にめげることなく、できることを精一杯がんばり、秋の野外教育活動もアイデア満載の二日間にする事ができました。

先輩と呼ばれるようになった二年生。生徒会活動や部活動では、自分たちができることは何かを考え、自分の役割を精一杯果たそうと努力することができました。仲間との関わりが深まる中で、相手の思いや考えを受け入れることや客観的に自分を見つめることの大切さに気づき、心身ともに成長しました。

最高学年になり、豊城中生としての自覚を高めた三年生。一つ一つの行事に「最後の」がつくことを意識しながら、これまで培ってきた経験や学びをあらゆる場面で発揮しました。豊城祭では、学校

全体を盛り上げようと企画・運営に力を注ぎました。合唱コンクールでは、学級の団結を高めながら「丸」となって練習に臨み、本番では、すばらしい歌声を公会堂に響かせました。

いよいよ卒業が近づいてきました。仲間と築き上げてきた「ONE TEAM」で、すばらしい卒業式を迎えられるようにしましょう。豊城中学校での思い出を胸に、新たな場所でも一人一人が自分らしく輝き続けることを願っています。皆さんの未来に幸あれ！

